

大正7年(1918)、日本画家の小野竹喬、土田麦穂らが理想的な作品発表の場を求めて結成した美術団体「国画創作協会」を前身とする国画会は、絵画・彫刻・版画・工芸・写真の5部による美術団体として日本最大級公募展(国展)を開催し、1926年(第1回国展相当)以来現在で86回を数えます。国画創作協会発足時から掲げられた「創作の自由」の精神は、多様化が進む現代の美術界にあって多くの支持を得ています。

当地ゆかりの作家では、国画会を中心作家の梅原龍三郎に強く傾倒した洋画家の土田文雄や同郷の画家たちが大正15年(1926)の国画創作協会時代から出品をはじめます。椿貞雄、彫刻家の桜井祐一らも長年国画会に出品し、その系譜に連なる多くの作家たちが作品発表の場となりました。また、椿夏子(椿貞雄二女)と芹沢銈介、遠藤賢太郎と須田剋太のような師弟関係に代表されるように、国画会という場にまつわる人間関係、作品への影響も多く見られます。

本展覧会では「国画会」というフィルターを通して、近現代の郷土の美術の流れ、中央美術界、作家同士のつながりを一望し、山形の美術の過去と現在を見つめようとするものです。

出品作家(物故)	梅原龍三郎	須田剋太	新海竹蔵	芹沢銈介	椿 貞雄	土田文雄	土田次枝	高瀬達三	為本自治雄	渋谷円吉
	桜井祐一	鈴木 実	阿部 誠	茨木敏夫	染谷英五	椿 夏子				
(現役)	遠藤賢太郎	峯田敏郎	原 秀造	遠藤正俊	椎名久夫	本木京一	橘達理志	石塚信雄	清水恵子	遠藤一成 菅原夏未



1



3



5



6



2



4

◇山形ゆかりの作家たち

1. 土田文雄「海岸の小屋」1950年代 米沢市上杉博物館
2. 土田次枝「高原」1967 第41回国展 米沢市上杉博物館
3. 峯田敏郎「記念撮影・石のある風景」1999 第73回国展 山形美術館
4. 鈴木 実「或る朝、そしてバラの影、そして文信」1969 第43回国展 米沢市上杉博物館
5. 遠藤賢太郎「棲木」2007 第81回国展 米沢市上杉博物館
- ◇中央の作家との関わりから
6. 須田剋太「私の夢茶室」1964 第40回国展 埼玉県立近代美術館
7. 芹沢銈介「樹地型絵染のれん 滝」1962 東京国立近代美術館工芸館(展示期間10/6~10/23)



7

関連事業

◇ギャラリートーク

10月6日(土)14:00~ 企画展示室

当館学芸員の展示解説と山形国展(絵画部)による作品解説
※要企画展入館券

◇講演会

11月4日(日)14:00~ 伝国の杜2階 第1・2小会議室

入場無料 申込不要(先着90名)

講師 遠藤賢太郎氏(山形大学名誉教授・国画会会員)

演題「北の大地が育んだ芸術〜国展と山形ゆかりの作家達〜」

◇募集制ワークショップ

11月2日(金)19:00~

「ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ 楽しむ美術」

*夜の展示室で企画展を楽しく鑑賞します。

対象 なたでも(中学生以下は保護者同伴) 定員20名程度
参加費 500円 ※申込受付開始 10月2日(火)

展示室入館料

企画展のみ

一般400(320)円 高大生300(240)円 小中生200(160)円

常設展セット 一般600(480)円 高大生400(320)円 小中生250(200)円

() 20名以上の団体料金

常設展示室 上杉文華館 10月12日(金)~11月8日(木) 休館日: 10月24日(水)

国宝 上杉本洛中洛外図屏風 原本展示



入館料

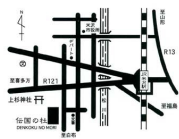
一般 400円(320円)

高大生 200円(140円)

小中生 100円(60円)

() 20名以上の団体料金

※企画展とのセット料金あり。



■JR米沢駅から30m、上杉神社南側
■市内循環バス(上杉神社)下車
■市内循環バス(南側)下車(九里寺南側)下車
■山形県立博物館にユレキ15分

伝国の杜
米沢市上杉博物館

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2860
http://www.denkoku-mori-yonezawa.yamagata.jp

次回 企画展「米沢藩絵図の世界(仮)」 12月8日(土)~2013年2月17日(日)